

## 平成 29 年度第 2 回 IR 実務担当者連絡会アンケート結果

「平成 29 年度第 2 回 IR 実務担当者連絡会」アンケートは、参加者 26 名のうち、スタッフ 7 名を除いた 19 人中 15 人から回答があった。87%が概ね満足か満足と回答した。IR を始めたばかりの参加者や、統計の知識のない参加者にとっては内容がやや難しい箇所があったようである。質問・感想票を用いて全ての質問に答え、議論を深めていく時間帯で、他の参加者からの質問や意見が参考になったという回答もあった。今回の発表のテーマである、ファクトブック、BI ツール、教員業績評価、統計検定について、参加者のそれぞれの現場で活用のヒントとなったようである。

今後取り扱ってほしいテーマ・内容には、大学経営に IR を活用した事例（経営 IR）、財務 IR、KPI の他、ファクトブックの活用例、エビデンスに基づく改善の具体例、教員のエフォート管理、IR が扱う個人情報について、それぞれ要望があった。

（藤井 [九州大]）

平成 29 年 7 月 14 日開催

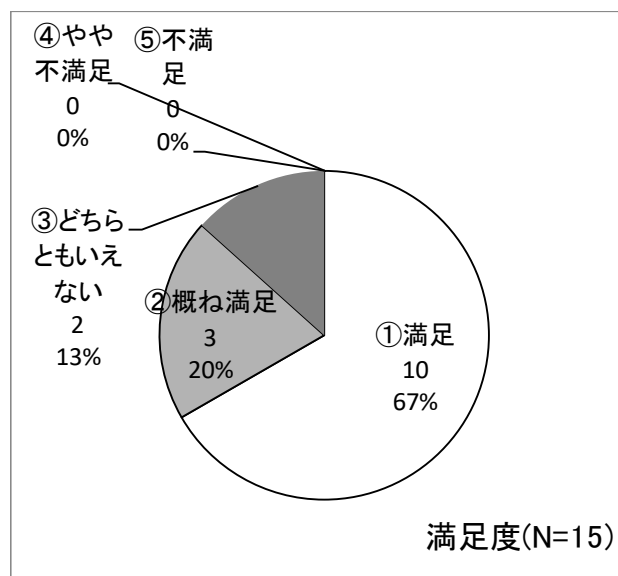


図 1 : 満足度

## アンケート結果の詳細

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
1	国立	IRを継続的・効果的に進めていく上で重要なことは、事務と教員との連携であることを強く感じた。	③どちらともいえない	発表内容の対象者の幅が広すぎるように感じた。	大学経営に実際に活用されているIR活動の実例	
2	国立	IR活動からものの一部がどう行われているのか知ることができた。	③どちらともいえない	今すぐ活用できるものではないが、将来的に役立つ可能性がある情報が得られた	教員のエフォート管理のための情報	ファクトブック、IR情報の定義、教員評価、個別大学ごとにやるのではなく、高等教育局や評価機構が標準化を図れば良いのではないかと。
3	国立	データの利活用、評価方法について、日常の事務の中で知識を得られる機会がなかなかないため、非常に勉強になりました。	②概ね満足	ほぼ初心者には、ちょっと難しいと思うこともあったが概ね理解できたため。		物事の裏付けにはデータが必要である。しかし、事務職員は総じて意識が低いとため、どうすれば真剣に取り組んでくれるのか、悩ましいところです。
4	国立	複数の大学のIRの状況が良くわかった。	②概ね満足	1の回答のとおりです。	大学経営戦略への応用	また参加させていただきます。今後ともよろしくお願ひ致します。
5	国立	IRや評価をする上で、現場から信頼を得ることが大事、ということにハッとさせられました。BIについてあまり知識がなかったので勉強になりました。	②概ね満足	最近、評価に関わりはじめた事務職員で統計のお話について行けずがやしかったです。勉強します。		
6	国立	Factbookの作成や教員のパフォーマンス計測など、本学が今後取り組むべき事項が多く、大変勉強になりました。	①満足	具体的な事例を用いながら解説が行われており、実際にIR業務を行う際に活用できるため。	IRが取り扱う個人情報とその管理について(学内規定などを含めて)	教員パフォーマンスについて、次回にでも詳しく説明していただけるとうれしいです。
7	関係機関	「検定が必要か？」については、普段から感じていることが共有されて良かった。改善案については、私も改め	①満足	BIツールの見せ方はなかなか難しいと感じました。		

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
		て考えたいと思いました。				
8	国立	年俸制教員評価部会を立ち上げて制度設計を行うのは効率の面からも理にかなっており、参考になりました。	①満足	今後の実務を効率的に遂行する上で参考になる知見があったため。		研究IRについても興味をお持ちの大学があることが分かったので、ちょっとした内容でも参考にして貰えそうな内容があれば発表していきたいと思います。
9	国立	BIツールについて。ベンチマークデータの難しき。	①満足			異動で長期担当しない職員の引き継ぎについて、どのように対応するのがよいか…、大学さんにより異なりますね。
10	未記入	最新のIRの手法や動向が分かったことと、人脈ではないでしょうか。	①満足	リアルに今、IRで学内で問題になっていることについて参考となる話が聞けたため。	文科省の交付金の概算要求の方法が変わり、戦略ごとのKPIで査定されるようになりました。このKPIが評価の世界に影響するものなのでしょうか。	
11	私立	IRに関する先駆的な取組事例	①満足	現在はIRに関する知見を得る機会が少ないため、本連絡会のような場は非常に有益だと感じた。	経営IR、財務IRについて。 IR(エビデンス)に基づく改善の具体例など	
12	未記入	総合討論であがった意見、各報告、とても参考になりました。	①満足	ファクトブック(データカタログを含めて)、BIツールについて、イメージを描くことができました。		総合討論の中で、分からなかった部分があり、たいぶ整理することができました。
13	未記入	様々な分析結果や先行事例を知ることができただけでなく、あらためてIRを推進していく上で、人との関わりが重要なんだということが再確認できたことが一番の収穫です。	①満足	自分が考えてもいないような質問や、それに対する回答(具体例も含めて)を情報交換できたからです。	ファクトブックの活用例(成功事例、失敗事例等)	
14	国立	IR担当として数値の定義をいかにはっきりさせるかを悩んでいたの、ファクトブック等の存在を知り、今後の業	①満足	教員評価やIRを行っている方々と直に悩み等をお話する機会が初めての経験だったので、と		

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
		務計画に盛り込むなど活かしたいと感じました。		でも有意義な時間だと感じた。		
15	関係機関	①まだまだ考えないといけないことがあると感じました。勉強になりました。 ②Excelとタブローの比較、とても役に立ちました。 ③事例もイメージがわいて勉強になりました。	①満足	上記②・③		

以上